

構内事故防止の一声を！

～慣れた構内 気を引き締めて 事故防止～

本年度上半期の対物事故の約31%は構内で発生しています。このうち49.5%はバック中の事故でした。

事故の形態を見ますと、

構内を走行中、上空の配管に衝突した

納品場所にバックで入ろうとしたら、開く途中のシャッターに衝突した

プラットホームにバックで着けようとしたら、隣の駐車車両に接触した

納品を終え、車に戻ったら車が動いて、倉庫に衝突していた

等、油断や慣れから多発しています。

運行管理に当たる皆さんは、‘構内事故は会社のイメージダウンに直結する’ことを念頭に、ドライバーに緊張感を持続させるための“一声”を積極的に掛けていただき、全員が無事故で会社の信頼を高めるためのご配慮をお願いします。

<構内事故防止の声掛け例>

構内ルールの厳守

～構内では事故防止のために一定のルールが定められています。構内速度や通行方法等を遵守し安全運転に徹しましょう。

構内の交通環境の把握を

～いつも利用し慣れている構内だからと気を抜かず、シャッターの開閉状況や上方の工作物等を自分の目で確実に確認しましょう。

バック時は下車して安全確認を

～バック時は、必ず下車してトラックの周囲の安全確認をしてから低速でバックしましょう。

「機器に頼りすぎ」は危険

～バックアイカメラ等の後方安全確認機器にも死角があります。バック時は、機器だけに頼らず、サイドミラーや目と耳をフルに使って安全を確認しましょう。

サイドブレーキ等の停止装置は確実に

～駐車し車を離れる時は、確実にサイドブレーキをかけるとともに、輪止めを施す等安全措置を確実にいきましょう。